

その二（家畜人工授精用精液の採取及び処理に関する事項）

種畜	種畜証明書番号		名前		種類及び品種		生年月日		飼養者の氏名又は名称及び住所		精液の譲渡（※）				摘要	
	採取年月日	採取時刻	採取量	色	臭気	PH	精子数	活力及び生存率	き型率	き积液及びき積倍率	凍結後の活力及び生存率※	家畜人工授精用精液証明書番号	年月日	家畜人工授精用精液証明書番号		譲渡量
												号から号まで				
												号から号まで				
												号から号まで				
												号から号まで				
												号から号まで				
												号から号まで				
												号から号まで				
												号から号まで				

備考

- この帳簿には、種畜ごとに作成して家畜人工授精用精液の採取及び処理に関する事項を記載し、又は記録すること。
- 精液を採取し、封を施すことなく、その場で雌畜に注入し、又は体外授精を行ったときは、摘要欄に精液採取に関する証明書（乙）番号を記載し、又は記録すること。
- 獣医師又は家畜人工授精師が種畜の飼養者であって、種付台帳（様式第4号その三）に記載し、又は記録した場合は、この帳簿の記載又は記載を要しない。
- ※印の欄には、精液を凍結処理しない場合は、記載又は記録を要しない。
- （※）印の欄には、精液を採取した獣医師又は家畜人工授精師が精液を譲渡する場合に限り記載し、又は記録する。
- 精液を混合処理した場合には、種畜の名前の欄には、その精液が混合されている種畜のうち少なくとも1頭について記載し、併せて合計頭数が分かるよう記載すること。